

九州地方電力利用効率化協議会 平成28年度下期 電力利用効率化見学会を開催しました

九州地方電力利用効率化協議会では、平成28年度下期見学会を11月18日(金)に、福岡地区で開催し、11社16名に参加いただきました。

今回は、平成26年に省エネ及び環境保全の象徴となるP I棟が完成した三菱電機(株)パワーデバイス製作所、及び省資源に積極的に取り組まれている(株)朝日プリンテック福岡工場を訪問しました。

【三菱電機株式会社パワーデバイス製作所】

午前は、福岡市西区にある「三菱電機(株)パワーデバイス製作所」において、随所に最新の省エネ設備を導入したP I棟（パワーデバイスイノベーションセンター）及び、製作所の生産ラインを見学しました。

見学では、まず2班に分かれ、それぞれ半導体モジュール工場またはホイストモータ工場の生産ラインを、設備の概要などについて説明を受けながら視察しました。

続いて、P I棟に導入されている省エネ設備について説明を受けた後、建屋内の各設備を視察しました。P I棟では、「従業員の連携強化推進」と「環境性能の確保」をコンセプトとし、建屋レイアウトの工夫（執務エリアの配置、吹き抜け階段・トップライト等の採用など）、ビル設備オープン統合システム（ファシーマBAシステム）による空調・照明制御や入退所管理などが導入されており、旧事務所棟と比べ単位面積当たり30%の電力削減が実現されていました。

見学者からは、省エネの仕組みやシステム運用時の工夫等について、活発な質問や意見が出されていました。



▲ 三菱電機株式会社 パワーデバイス製作所
P I棟の受付前で記念撮影に収まる参加者

【株式会社 朝日プリンテック九州工場】

午後は、太宰府市にある「(株)朝日プリンテック福岡工場」を訪問しました。

この工場では、朝日新聞をはじめ、日刊スポーツ他各紙の印刷を手掛けられていますが、1時間に9万部の印字スピードを誇る輪転機が稼働しています。新聞印刷においては、FMスクリーン印刷の導入や高濃度インク・AEG用紙の使用など、印字技術の向上により、紙やインク等の省資源・省コストを実現し、省エネルギーやCO₂削減にもつなげています。

また、印刷工程だけでなく、製版工程から発送工程に至る作業の効率化が図られており、空調機にも高効率のヒートポンプチラーを採用するとともに、システムによる空調稼働スケジューリング管理などの省エネルギーへの取り組みも行われていました。

見学では、他では近寄ることのできない高速輪転機の始動から本稼働までを間近で視察することができ、非常に見応えのあるものであり、省資源や印字品質向上への取組状況についての説明も受けました。

見学者からは、「省エネ・環境対策についてもっと知りたい」「他業界の工程を見学でき勉強になった」などの意見をいただきました。



▲ 株式会社 朝日プリンテック 福岡工場
工場内で設備を見学する参加者

今後も、様々な設備や多方面の業種を選定して見学会を計画したいと考えており、次回開催は、平成29年5月頃を予定しています。